

令和7年度保健師中央会議  
行政説明 資料5

# 小児のアレルギー疾患保健指導手引きの活用について

厚生労働省 健康・生活衛生局  
がん・疾病対策課

# 厚生労働省におけるリウマチ・アレルギー疾患に関するこれまでの取組

昭和47年	小児ぜんそく治療研究事業を実施 (昭和49年度より小児慢性特定疾患治療研究事業において医療費助成を開始)
平成4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>アレルギー疾患についての総合的な研究事業を開始し、病因及び病態の解明、治療法等の研究の推進。</li> <li>免疫アレルギー疾患の診療に関するガイドライン等を随時作成及び改訂し、医療関係者に対する適切な診断・治療方法の普及啓発を実施</li> </ul>
平成12年	<ul style="list-style-type: none"> <li>リウマチ・アレルギー疾患に関する診療、研修、研究、情報などに関する高度専門医療施設として、国立相模原病院（現国立病院機構相模原病院）に臨床研究センターが開設</li> </ul>
平成17年	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後のアレルギー対策を総合的・体系的に実施するため「アレルギー疾患対策の方向性等」を策定し、都道府県等関係団体に通知。（「医療提供等の確保」を柱の一つに掲げ、かかりつけ医を中心とした医療体制の確立を推進）</li> </ul>
平成18年	<ul style="list-style-type: none"> <li>リウマチ・アレルギー特別対策事業を開始</li> </ul>
平成23年	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚生科学審議会疾病対策部会リウマチ・アレルギー対策委員会において報告書のとりまとめ（平成23年8月）</li> </ul>
平成26年	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>アレルギー疾患対策基本法成立</u>（平成27年12月施行）</li> </ul>
平成29年	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針の制定</u>（平成29年3月21日 厚生労働省告示）</li> <li>アレルギー疾患医療提供体制の在り方についてとりまとめを行った（平成29年7月）</li> </ul>
平成30年	<ul style="list-style-type: none"> <li>アレルギー疾患医療提供体制整備事業が開始（平成30年度～）</li> <li>免疫アレルギー疾患研究戦略検討会で「免疫アレルギー疾患研究10か年戦略」のとりまとめを行った（平成31年1月）</li> </ul>
令和4年	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針の改正</u>（令和4年3月14日改正 厚生労働省告示）</li> </ul>
令和5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>花粉症に関する関係閣僚会議が開催され、「花粉症対策の全体像」がとりまとめられた（令和5年5月）</li> </ul>
令和6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「免疫アレルギー疾患研究10か年戦略」の中間評価を行った（令和6年11月）</li> </ul>

# アレルギー疾患対策基本法（平成26年法律第98号）

## 代表的な6疾患

気管支ぜん息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、花粉症、アレルギー性結膜炎、食物アレルギー

## 主な基本的施策

### 1) 重症化の予防及び症状の軽減

- ・知識の普及等
- ・生活環境の改善

### 2) 医療の均てん化の促進等

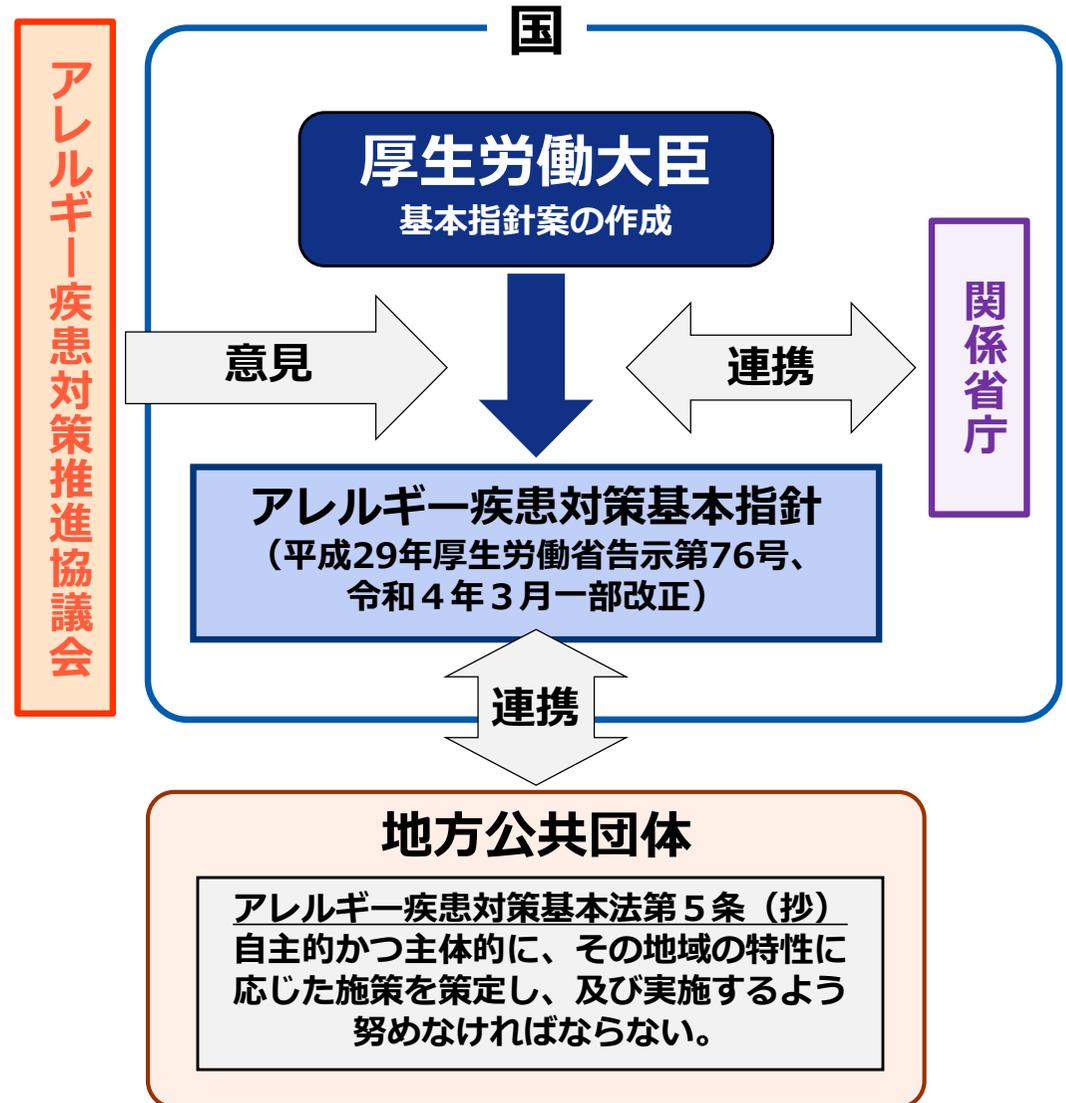
- ・専門的な知識及び技能を有する医師  
その他の医療従事者の育成
- ・医療機関の整備等

### 3) 生活の質の維持向上

- ・その他アレルギー疾患医療に係る  
職種の育成
- ・関係機関の連携協力体制の整備
- ・国民全体への情報提供体制の整備

### 4) 研究の推進等

- ・アレルギー疾患の本態解明
- ・疫学研究、基礎研究、臨床研究の  
促進と、その成果の活用



# 小児のアレルギー疾患保健指導の手引き 作成の経緯

## アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針 第二（ウ）

国は、地方公共団体に対して市町村保健センター等で実施する乳幼児健康調査等の母子保健事業の機会を捉え、乳幼児の保護者に対する適切な保健指導や医療機関への受診勧奨等、適切な情報提供を実施するよう求める

小児のアレルギー疾患保健指導の手引き  
2023年改訂版



現場において、正しい知識に基づいた保健指導の一助とすべく、厚生労働科学特別事業の一環として、「小児アレルギー疾患 保健指導の手引き」が作成

平成30年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金  
「アレルギー疾患に対する保健指導マニュアル開発のための研究」

### <目指す成果>

- 1) 増悪予防：乳幼児検診等の母子保健事業において、保護者の保健指導や医療機関への受診勧奨等が実施され、適切な受診行動に繋がる
- 2) 発症予防：保健指導を通じて公衆衛生的な取り組みが充実する
- 3) 災害対応：平時から災害への備えを行い、災害時の避難所生活等でのリスクを軽減する

- 医学の進歩や社会環境の変化、基本指針の一部改正に合わせて、**2023年改訂版を発行**※

# 小児のアレルギー疾患保健指導の手引き 利用状況調査

○小児のアレルギー疾患保健指導の手引きの利用促進には更なる情報提供・普及が必要である

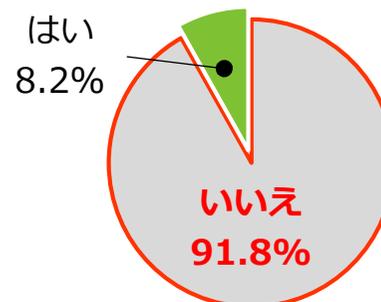
## 「保健指導の手引き」改訂に向けたアンケート調査結果

○「小児のアレルギー疾患保健指導の手引き（H30発行）」の活用状況、問題点について無作為抽出した521の自治体に調査を行った（275か所から回答：52.8%）

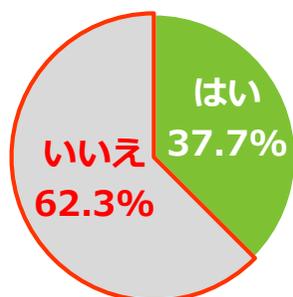
アレルギー疾患に関する保健指導  
を行っていますか？



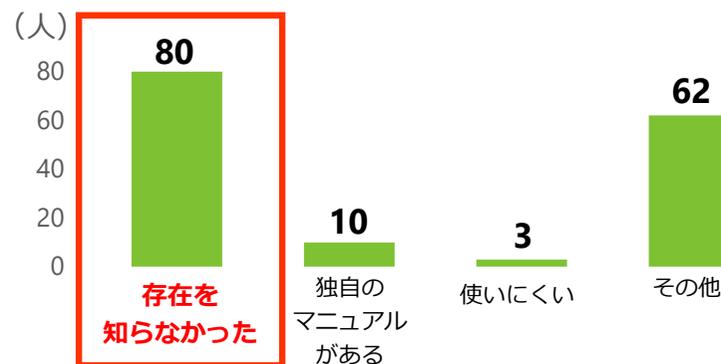
保健指導のための指導マニュアル  
はありますか？



「小児のアレルギー疾患保健指導の手引き」  
を使っていますか？



手引きを使わない理由は何ですか？



# 小児のアレルギー疾患保健指導の手引き 2023年改訂版

○ 実際の保健指導で遭遇しやすい場面を想定したQ&A形式で掲載

## アレルギー発症予防

	年代区分				ページ数
	① 妊娠中	② 新生児～ 離乳食前	③ 離乳食 ～1歳	④ 幼児	
Q1 卵など食物アレルギーになりやすいものは妊娠中・授乳中は避けた方がいいのでしょうか？	○	○	○		12
Q2 妊娠中の食事でアレルギーにいいものはありますか？	○				12
Q3 親やきょうだいにアレルギーがいたら、アレルギーになりやすいですか？	○	○	○	○	13
Q4 母乳栄養の方がアレルギーになりにくいのでしょうか？	○	○			14
Q5 ペットを飼うとアレルギーになりやすいですか？	○	○	○	○	14
Q6 妊娠中の喫煙はアレルギーに関係ありますか？	○	○	○	○	15
Q7 生まれた後早くからスキンケアをした方がアレルギーになりにくいのでしょうか？	○	○			15
Q8 食物アレルギーにならないために、離乳食を開始するのは遅らせる方がよいのでしょうか？		○	○		16
Q9 水泳(ベビースイミング含む)がぜん息の予防に良いとききましたが、本当でしょうか？		○	○	○	17
Q10 掃除が不十分だとアレルギーになりやすいですか？		○	○	○	17

### 【掲載例】

**Q3：親やきょうだいにアレルギーがいたら、アレルギーになりやすいですか？**

(年代区分：①、②、③、④)

**A：**アレルギーの発症に遺伝的要因は関係ありますが、それだけでアレルギーになるわけではありません。

**解説：**アレルギー疾患の発症における遺伝的要因の関与は大きく、様々な出生コホート研究の結果からアレルギー疾患の家族歴は子どものアレルギー疾患発症のリスク因子であることが示されています。これらの結果からアレルギーハイリスク児を「両親もしくは同胞に1人以上のアレルギー罹患者がいる児」と定義していることが多いです。各疾患や報告などによって異なりますが、両親または同胞のいずれかにアレルギー疾患の既往がある場合、ぜん息の発症率が約2.4倍であったとの報告や、食物アレルギーの同胞を有する場合、子どもの食物アレルギーの発症率は約2.6倍であったとの報告もあります。しかしアレルギー疾患の発症には環境要因など様々な要因が関与しており、遺伝的要因のみでアレルギー疾患が発症するわけではありません。

**Q8：食物アレルギーにならないために、離乳食を開始するのを遅らせる方がよいのでしょうか？(年代区分：②、③)**

**A：**食物アレルギーの発症予防を目的として離乳食の開始を遅らせることは推奨されていません。

**解説：**過去に食物アレルギーになりやすい食品の摂取開始を遅らせることが望ましいと考えられた時期がありました。しかし、離乳食の開始を遅らせることで食物アレルギーの発症が予防できるという十分な証拠はありません。特に、湿疹がある子どもでは皮膚からの感作により食物アレルギーの発症リスクが高いことが知られているため、湿疹の治療を行なった上で適切な時期から離乳食を始めましょう。例えば鶏卵では湿疹の治療を行い、生後6か月から鶏卵の摂取を開始することでその後の鶏卵アレルギーを抑制できることが報告されています。離乳食開始前に湿疹がある場合は医療機関を受診して皮膚症状の改善を行い、離乳食の開始について相談しましょう。

# 小児のアレルギー疾患保健指導の手引き 2023年改訂版

○ 実際の保健指導で遭遇しやすい場面を想定したQ&A形式で掲載

## 乳児湿疹／ アトピー性皮膚炎

	年代区分				ページ数
	① 妊娠中	② 新生児～ 離乳食前	③ 離乳食 ～1歳	④ 幼児	
Q1 乳児湿疹とアトピー性皮膚炎との違いは何でしょうか？		○	○		18
Q2 湿疹の悪化を防ぐための適切なスキンケア方法を教えてください		○	○	○	18
Q3 乳幼児期の紫外線対策について教えてください		○	○	○	19
Q4 ステロイド外用薬を使うのが心配です		○	○	○	20
Q5 アトピー性皮膚炎は治りますか？			○	○	21
Q6 ずっとステロイドを使っているけれど、副作用などは大丈夫でしょうか？			○	○	21
Q7 プロアクティブ療法とは？ (ステロイド外用薬の安全な使用方法とは？)			○	○	22
Q8 アトピー性皮膚炎と言われました 食物除去は必要でしょうか？			○	○	23

### 【掲載例】

**Q2：湿疹の悪化を防ぐための適切なスキンケア方法を教えてください**

(年代区分：②、③、④)

**A：**皮膚を清潔に保ち、保湿剤などの塗り薬を必要量使用し、湿疹がない皮膚、湿疹を繰り返さない皮膚を目指しましょう。

**解説：**スキンケアとは、アトピー性皮膚炎の特徴であるドライスキンを改善し、皮膚のバリア機能を補正するために行う、日々の皮膚ケアを意味します。具体的には、皮膚を清潔に保つこと（入浴、洗浄など）およびバリア機能を補正すること（保湿剤の使用）を指します。アレルギー、汗や汚れ、黄色ブドウ球菌などによる刺激を防ぐことで、保湿剤やステロイド外用薬の効果を高め、きれいな皮膚を維持しやすくします。

**Q6：ずっとステロイドを使っているけれど、副作用などは大丈夫でしょうか？**

(年代区分：③、④)

**A：**ステロイド外用薬を必要量、決められた塗り方で使用していれば、まず副作用の心配はありません。

**解説：**ステロイドには、塗り薬である外用薬と飲み薬である内服薬があります。この両者では、長期で用いることによる副作用は、大きく異なります。一般的に、多くの方が心配される、成長抑制、免疫抑制、多毛といった副作用は、内服薬によるものであり、外用薬では、生じることはありません。内服薬は、薬が血液中に入って全身を回り、効果を発揮するため、他の臓器にも副作用が出やすくなります。アトピー性皮膚炎の治療においては、内服薬、主に成人で悪化の際に、一時的に用いられることはありますが、短期間の使用であれば、副作用を心配する必要はありません。外用薬の副作用としては、長期に用いることで、皮膚が薄くなるといったことはありますが、妊娠線のような皮膚線条という状態にならない限りは、外用薬を中止することで、1ヶ月程度で改善します。また、こうした副作用も、乳幼児においては、成人よりも少ないとされています。

# 小児のアレルギー疾患保健指導の手引き 2023年改訂版

○ 実際の保健指導で遭遇しやすい場面を想定したQ&A形式で掲載

## 食物アレルギー

	年代区分				ページ数
	① 妊娠中	② 新生児～離乳食前	③ 離乳食～1歳	④ 幼児	
Q1 食物アレルギーと診断された乳児に授乳している母親の食物除去は必要ですか？		○	○		24
Q2 食物アレルギーは血液検査で診断できますか？		○	○	○	24
Q3 どのようなときに専門の医療機関を受診すれば良いのでしょうか？		○	○	○	25
Q4 園・保育所・学校での対応について教えてください		○	○	○	26
Q5 食物アレルギーの症状が出た時の対応を教えてください		○	○	○	27
Q6 食物経口負荷試験ではどんなことをするのですか？			○	○	28
Q7 食物経口負荷試験はどこで受けることができますか？			○	○	28
Q8 鶏卵アレルギーですが予防接種は受けて良いのでしょうか？			○	○	29
Q9 除去食を指示されましたが、栄養面は大丈夫でしょうか？			○	○	29
Q10 食物アレルギーと診断され、原因食物の除去を指示されました。どのように離乳食を進めたら良いのでしょうか？			○	○	30
Q11 鶏卵、牛乳のアレルギーでも、卵殻カルシウム、乳糖は食べて良いですか？			○	○	31
Q12 原因食物の除去解除を進めるためにはどのようにすれば良いのでしょうか？				○	32

### 【掲載例】

**Q2：食物アレルギーは血液検査で診断できますか？** (年代区分：②、③、④)

**A：**血液検査だけで食物アレルギーを診断することはできません。

**解説：**食物アレルギーの診断は、原則として、原因と考えられる食物を食べてアレルギー症状が誘発されること、その食物に対して感作されていることの両方で診断します。

血液検査では、食物特異的 IgE 抗体を検査して、感作を確認することができます。値が高いほど食物アレルギーである可能性は高まりますが、必ずしも 100% ではありません。検査する食物の種類、調理方法の違い、年齢などにより、検査結果の解釈が異なります。特異的 IgE 抗体が陰性でも食物アレルギーと診断されるタイプもあるため特定の食物を食べてアレルギー症状が誘発されるときには医師に除去の必要性を確認してもらいましょう。

**Q3：どのようなときに専門の医療機関を受診すれば良いのでしょうか？**

(年代区分：②、③、④)

**A：**乳児の湿疹が治りにくい場合、複数の食物除去が必要な場合、栄養食事指導が必要な場合、原因食物の診断が難しい場合や原因不明のアナフィラキシーを繰り返す場合には専門医療機関への紹介が必要です。また、食物アレルギーの正確な診断および除去解除を進めるために食物経口負荷試験を行っている医療機関を受診する必要があります。

**解説：**乳児のかゆみを伴う治りにくい湿疹と食物アレルギーは関係することがあります。通常のスキンケアやステロイド外用療法にて湿疹が改善しない場合や良くなったり悪くなったりを繰り返す場合には食物アレルギーの関与も考えて専門の医療機関を受診すると良いでしょう。また、食物アレルギーの正確な診断や除去解除を進めるためには食物経口負荷試験を受ける必要があります。血液検査(抗原特異的 IgE 抗体価)や皮膚プリックテストが陽性という理由だけで不必要な除去を指示されている場合や除去解除が進まない場合には、食物経口負荷試験を行っている医療機関を受診すると良いでしょう。その他、診断の見直しや栄養食事指導が必要な場合にも受診を勧めます。

# 小児のアレルギー疾患保健指導の手引き 2023年改訂版

○ 指導の際に活用出来るリーフレットや参考資料を掲載



## 3か月児のアレルギー対策

生活のポイント お子さんのよりよい育ちのために  
厚生労働省 HPより授乳・離乳の支援ガイド（2019改訂版）を参照してください。

### 呼吸の様子

呼吸困難の兆候を見逃さないことが大切です。  
普段とちがう様子があれば、お熱がなくても病院にかかりましょう。

#### 家で様子をみていてよい状態

- ・ゼロゼロしていても
- ・機嫌がよい。
- ・ミルクをよく飲む。
- ・よく眠れている。



#### かかりつけ医に受診しましょう。

- ・ゼロゼロが1日中続く。
- ・咳が続く。
- ・機嫌が悪い。
- ・ミルクの飲みが悪い。



#### 夜でも、休日でも急いで病院に行きましょう。救急車を呼びましょう。

- ・呼吸が普通ではない。
- ・ぐったり。

ミルクが全く飲めない



胸がベコベコ動く



### 湿疹の悪化予防

湿疹がない皮膚、湿疹をくりかえさない皮膚を目指しましょう。受診している場合は、主治医の先生と一緒に皮膚の状態を見ながら相談し、治療を進めましょう。

#### スキンケア

皮膚の汚れ（アレルギー物質、汗、細菌等）を落として清潔な状態を保ちましょう

- ①石けんはよく泡立てて使いましょう。（メレンゲ状にします）
- ②手で優しく洗いましょう。
- ③しわのあるところは伸ばして洗いましょう。
- ④顔にも石けんをつけて洗いましょう。
- ⑤ふくときは、押さえずに優しく拭き取ってください。



◎いい泡とは？  
逆さまにしても落ちないくらいの泡です。



#### <ポイント>

- ・耳もていねいに洗います。
- ・首や下あごは皮膚を伸ばして洗います。
- ・すすぎもしっかりしましょう。

#### <顔洗いのポイント>

- ①ほっぺたとおでこを洗います。
- ②素早く目と口周りを洗います。
- ③すぐにすすいで乾いたタオルで顔を拭いてあげましょう。



#### ぬり薬の使い方

医師から処方されたぬり薬は、正しく効果のある方法で（ティッシュがくっつくくらい）

- ①入浴後は、ふいたらすぐ薬をぬりましょう。
- ②たっぷり皮膚にのせるようにぬりましょう。

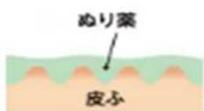
ぬり薬で湿疹を完全になくし、きれいにするのが大切です。湿疹がなくなってからも保湿剤を続けて、きれいな皮膚を保つようにします。



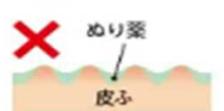
大人の人差し指の第一関節分



大人の手のひら2枚分



湿疹のふくらみをおおうように



擦り込んだり、薄く塗るのはやめましょう。湿疹部分に薬が十分につきません。

### 食物アレルギーの予防

#### ① 皮膚をきれいに保ちましょう

湿疹のある赤ちゃんは、食物アレルギーを発症しやすいことが知られています。よだれかぶれやおむつかぶれも含めて、できるだけきれいにケアしましょう。

#### ② お母さんの除去に、予防効果はありません

妊娠・授乳中のお母さんが卵や牛乳を避けても、アレルギー予防効果は期待できません。

#### ③ 離乳食は普通に始めましょう

アレルギーを予防するために離乳食の開始を遅らせることは、全く効果がないことがわかっています。生後5～6か月を目安に、普通に始めましょう。

#### ④ 特定の食物を遅らせても予防効果はありません

卵、牛乳など食物アレルギーの発症頻度が高い食材でも、摂取の開始を遅らせることは、アレルギー予防にはなりません。心配な方は小児科医の指導をうけながら、少しずつ食べ始めましょう。

#### ご活用ください

アレルギーに関する正しい情報が得られる公的サイト  
<http://allergyportal.jp>

### アレルギーポータル



アレルギーについて、正しい知識を身につけて  
疾患の治療、管理、予防をしましょう

アレルギーポータル 検索



# 小児のアレルギー疾患保健指導の手引き 2023年改訂版

○ 指導の際に活用出来るリーフレットや参考資料を掲載

## 1歳6か月児のアレルギー対策 アレルギーの病氣 早期発見と悪化予防のための生活の工夫 症状について

### 皮膚の症状

アトピー性皮膚炎などの湿疹の特徴を知りましょう。正しいスキンケアと外用薬の使用をして、湿疹のない肌を保ちましょう。

湿疹がよくてかゆみやかき止まり



湿疹の特徴 かゆみがあり、よくなったり悪くなったりします。

### お風呂の入り方

- ★お風呂の温度はぬるめに
- ①石けんはよく泡立て手で優しく洗きましょう。
- ★耳や、ひじ・ひざなどの関節も丁寧に。
- ②すすぎは十分にしっかりと。
- ★シャワーもぬるめにし、勢いが強すぎないように。
- ③ふくときはこすらないように押えるようにします。
- 保湿剤は、ふいたらすぐぬり、皮膚を乾燥や刺激から守りましょう。



### 石けん

洗浄力の強いものは避け、メレンゲ状によく泡立てましょう。  
●石けん水をペットボトルに入れてよく振ると、さめの細かいいい泡がたちます。



◎いい泡とは？  
手を逆さまにしても落ちないくらいの泡

乳幼児スキンケア (Youtube)



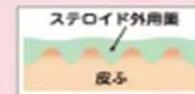
### ポイント ステロイド外用薬

ステロイド外用薬で湿疹を完全になくし、きれいにすることが大切です。湿疹がなくなっても保湿剤できれいな皮膚を保つようにしましょう。

### 入浴後、ふいたらすぐぬりましょう



大人の人差し指の第一関節部分の軟こうが大人の手のひら2枚分の面積に対して適量です。



湿疹のふくらみをおおうようにたっぷり皮膚に乗せるようにぬりましょう。

### 食物によるアレルギー症状

特定の食べ物を食べた後に次のような症状が出ます。

皮膚のかゆみ、じんましん、口やのどの違和感(イガイガ感) 唇や舌の腫れ、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、嘔吐 声のかすれ、咳、ゼーゼー・ヒューヒュー

複数の症状が急激に進むアナフィラキシーや、血圧低下、意識がもうろうとするアナフィラキシーショックに至ることもあります。

詳しくはこちら  
食物アレルギー  
緊急対応マニュアル

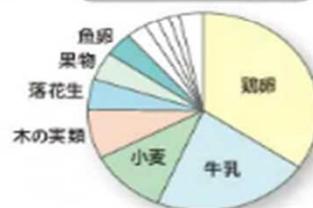


ポイント 特異的IgE抗体  
IgE抗体検査(血液)で陽性となった食物でも、食べてみて症状がでなければ「食物アレルギー」と診断されず、除去する必要もありません。

### 食物アレルギーが心配なときは？

- ① まずは、皮膚をきれいにしましょう  
湿疹が続いていると、食物アレルギーになりやすくなります。病院を受診してスキンケア(上記)やぬり薬で治療しましょう。
- ② 初めて食べるものは少しずつ  
初めて食べるものにもアレルギー症状が出る場合があります。アレルギーの多い食べ物(右図)は少しずつ食べ始めて、いきなり強い症状をおこさないようにしましょう。
- ③ 症状かな?と思ったら病院へ  
湿疹が治らないとき、すぐに再発するとき 疑わしい症状が見られたときには、医師と相談して正しい診断を受けましょう。
- ④ 除去食は医師の指導のもとで  
食べものの制限は、医師の指導のもとで行いどこまで避けるか、いつまで避けるかの見通しを持って進めましょう。  
なお、食物アレルギーの発症予防のために離乳の開始や特定の食物の摂取開始を遅らせることは推奨されていません。

アレルギーの多い食べ物



### ご利用ください

アレルギーに関する正しい情報が得られる公的サイト  
<http://allergyportal.jp>

### アレルギーポータル



アレルギーについて、正しい知識を身につけて疾患の治療、管理、予防をしましょう

アレルギーポータル 検索

日本アレルギー学会 厚生労働省



# 小児のアレルギー疾患保健指導の手引き 2023年改訂版

○ アレルギーポータルより無償でダウンロードが可能です

## アレルギーポータル

アレルギーについて、  
正しい知識を身につけて疾患の  
治療、管理、予防をしましょう。

アレルギーに関する様々な情報を集めたポータルサイトです。  
アレルギーの症状や治療方法、相談できる専門医や  
災害時の対応方法の情報等が集約されています。



- アレルギーについて
- よくある質問
- 医療機関情報
- アレルギーの本棚**
- 災害時の対応
- 日本の取り組み
- 研修・講習会・eラーニング
- 都道府県のサイト

ご利用ください

アレルギーに関する  
正しい情報が得られる公的サイト  
<http://allergyportal.jp>

## アレルギーポータル



アレルギーについて、  
正しい知識を身につけて  
疾患の治療、管理、予防をしましょう

アレルギーポータル

検索



**「行政・学校関係者の方向け」もしくは「医療従事者の方向け」のページからダウンロードができます**

## アレルギーポータル

- アレルギーについて
- よくある質問
- 医療機関情報
- アレルギーの本棚
- 災害時の対応
- 日本の取り組み
- 研修・講習会・eラーニング
- 都道府県のサイト

ホーム > アレルギーの本棚



### アレルギーの本棚

患者さん・一般の方向けの冊子のほか、  
行政・学校関係者や医療従事者の方向け  
に資料をまとめています。



#### 患者さん・一般の方向け

患者さんやご家族に役立つ冊子などを  
掲載しています。

[詳しくはこちら >](#)



#### 行政・学校関係者の方向け

行政・学校関係者の方向けの資料などを  
掲載しています。

[詳しくはこちら >](#)



#### 医療従事者の方向け

医療従事者の方向けの  
診療ガイドラインなどを掲載しています。

[詳しくはこちら >](#)

# アレルギーポータルにおける情報提供

○ 動画による解説やアレルギーの手引き、災害時のマニュアルなどの情報を紹介しています

## 動画による解説



食物アレルギーを防ぐには



小児の食物アレルギー



成人の食物アレルギー



食物蛋白誘発胃腸炎はどのような病気か

## 自治体ホームページの検索

▶ 各自治体のアレルギー対策を行うホームページにアクセス可



## 災害時の対応

▶ 平時・緊急時の対応方法やマニュアルなど公開



## 手引きやパンフレットの公開

▶ 「アレルギーの本棚」から参照可能



# アレルギー相談員養成研修会

## ○ アレルギー情報センター事業として、アレルギー疾患の研修を無償で受講できます

- 対象者：アレルギー疾患に関して患者やその家族と接する機会の多いアレルギー専門医以外の医師、薬剤師、看護師、保健師、栄養士など
- 目的：アレルギー疾患の基本的知識の修得と、最新情報の入手
- 期間：毎年10月～11月の2日間（その後1か月オンデマンド配信）
- 参加費：無料
- 申込方法：日本アレルギー学会ホームページより 9月頃開始予定

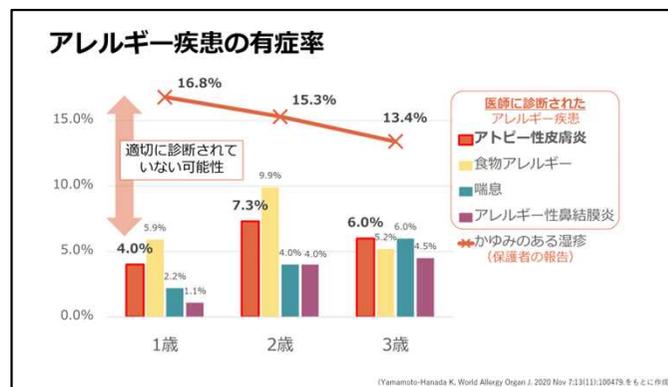
### <参考：2024年度養成研修会 プログラム>



2024年11月16日(土)		講師	2024年11月17日(日)		講師
9:20	開会挨拶・事務連絡 等		9:20	開会挨拶・事務連絡 等	
9:30-10:20	実践アレルギー講座1	国立病院機構横浜病院 臨床研究センター	9:30-10:20	実践アレルギー講座6	日本医科大学 皮膚科
	食物アレルギー	海老澤元宏 先生		アレルギー性皮膚疾患 (成人アトピー性皮膚炎を含む)	佐伯秀久 先生
10:20-10:30	質疑応答		10:20-10:30	質疑応答	
10:30-10:40	休憩 10分		10:30-10:40	休憩 10分	
10:40-11:30	実践アレルギー講座2	国立病院機構横浜病院 臨床研究センター	10:40-11:30	実践アレルギー講座7	群馬大学大学院医学系研究科 小児科学
	成人の食物アレルギー	福富友馬 先生		小児の喘息	滝沢琢己 先生
11:30-11:40	質疑応答		11:30-11:40	質疑応答	
11:40-12:40	昼休み 60分		11:40-12:40	昼休み 60分	
12:40-13:30	実践アレルギー講座3	国立成育医療研究センター アレルギーセンター	12:40-13:30	実践アレルギー講座8	日本大学医学部 視覚科学長眼科科学分野
	小児アトピー性皮膚炎 (乳幼児期スキンケアを含む)	福家辰樹 先生		眼科領域のアレルギー疾患 (アレルギー性結膜炎を含む)	庄司 純 先生
13:30-13:40	質疑応答		13:30-13:40	質疑応答	
13:40-13:50	休憩 10分		13:40-13:50	休憩 10分	
13:50-14:40	実践アレルギー講座4	帝京大学医学部 呼吸器-アレルギー内科	13:50-14:40	実践アレルギー講座9	帝京大学ちば総合医療センター 第三内科
	成人のアレルギー性呼吸器関連疾患(成人喘息を含む)	長瀬洋之 先生		アナフィラキシー (薬剤アレルギーを含む)	山口正雄 先生
14:40-14:50	質疑応答		14:40-14:50	質疑応答	
14:50-15:00	休憩 10分		14:50-15:20	質問コーナー	
15:00-15:50	実践アレルギー講座5	国原医療福祉大学医学部 耳鼻咽喉科学		閉会の挨拶	
	耳鼻咽喉科領域のアレルギー疾患	岡野光博 先生			
15:50-16:00	質疑応答				
16:00-16:30	質問コーナー				
	閉会の挨拶				

IgE依存性(IgEが関与する反応)の病型					
臨床型	発症年齢	頻度の高い食物	耐性獲得 (寛解)	アナフィラキシー ショックの可能性	食物アレルギーの機序
食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎	乳児期	鶏卵、牛乳、小麦など	多くは寛解	(+)	主にIgE依存性
即時型症状 (蕁麻疹、アナフィラキシーなど)	乳児期～成人期	乳児～幼児：鶏卵、牛乳、小麦、ピーナッツ、木の实類、魚卵など 学童～成人：甲殻類、魚類、小麦、果物類、木の实類など	鶏卵、牛乳、小麦などは寛解しやすい その他は寛解しにくい	(++)	IgE依存性
食物依存性運動誘発アナフィラキシー (FDEIA)	学童期～成人期	小麦、エビ、果物など	寛解しにくい	(+++)	IgE依存性
口腔アレルギー症候群 (OAS)	幼児期～成人期	果物・野菜・大豆など	寛解しにくい	(±)	IgE依存性

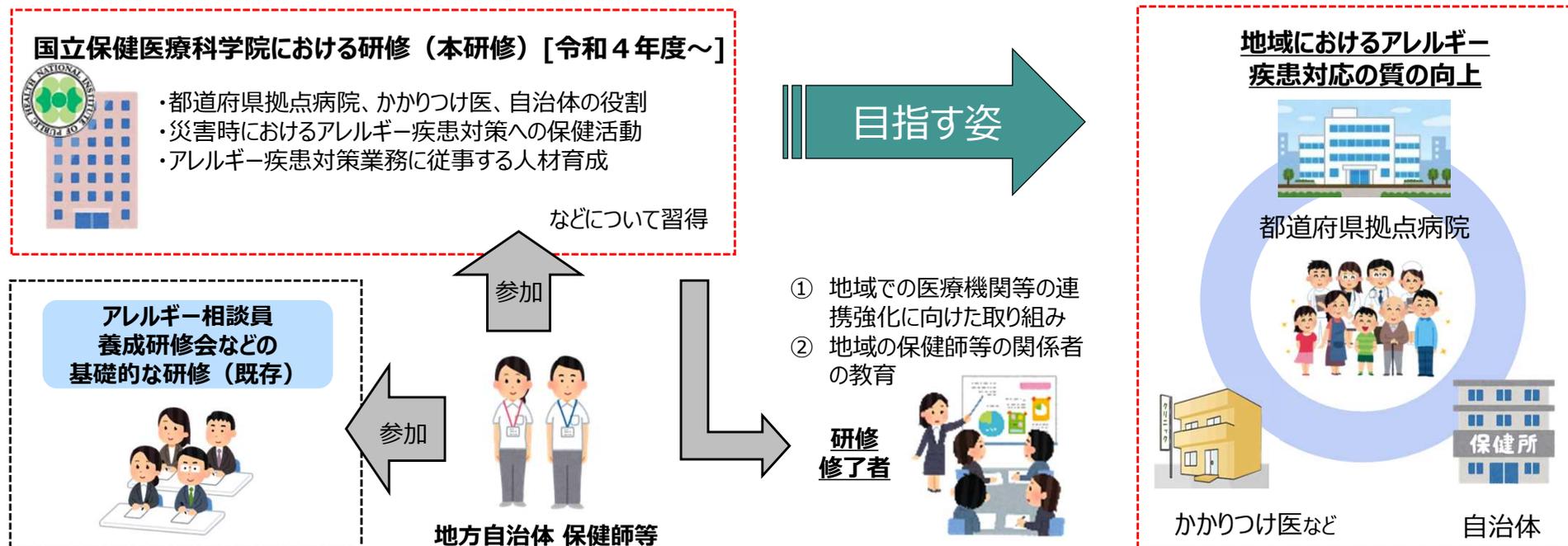
食物アレルギー診療ガイドライン2021



# 国立保健医療科学院におけるアレルギー疾患対策従事者研修

○地方公共団体においてアレルギー疾患対策の中心的な役割を担う保健医療に関係する職種を対象とした短期研修です（令和7年度の受付は終了）

事業概要	アレルギー疾患について既に基本的な知識・経験を有し、地方公共団体で中心的な役割を担う保健師等に対して、新たに専門性の高い研修を実施。当該研修を修了した職員が各地域で医療機関連携の強化と職員の育成を行うことにより、 <b>地域の実情に応じたアレルギー疾患対策の推進や対応の質の向上</b> を図る。
対象者	定員：30名 都道府県・指定都市・中核市・保健所設置市・特別区の自治体に勤務し、アレルギー疾患対策を推進する施策に携わる者、またはその管理・統括を行う者（保健師、医師、管理栄養士、行政職員等） ※現在、アレルギー疾患対策に関連した相談事業等に従事するもの、もしくは今後、それらに従事する可能性があるもの
研修期間	令和7年9月18・19日（2日間）
開催形態	集合開催予定（事前学習＋講習、グループワーク）



小児のアレルギー疾患保健指導の手引きなどを活用し  
引き続きアレルギー疾患保健指導の実施をお願いいたします